

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 そーせいグループ株式会社
 コード番号 4565 URL <http://www.osei.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長(兼取締役)CEO

(氏名) 田村 真一

問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役副社長

(氏名) 前川 裕貴

TEL 03-5210-3290

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	132	—	△3,106	—	△3,812	—	△3,534	—
20年3月期第3四半期	664	2.3	△4,540	—	△4,497	—	△4,292	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△29,984.04	—
20年3月期第3四半期	△36,491.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	13,353	—	12,718	—	94.0	—	106,495.20	—
20年3月期	17,403	—	15,782	—	89.4	—	132,002.67	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 12,555百万円 20年3月期 15,562百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190	—	△3,900	—	△4,600	—	△4,300	—	△36,473.75

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 117,893株 20年3月期 117,893株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 一株 20年3月期 一株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 117,893株 20年3月期第3四半期 117,633株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績予想に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

・業績予想の修正に関しましては、別途開示をしております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、日本及び英国の子会社（日本：株式会社そせい、英国：Sosei R&D Ltd.）を中心にグローバルに医薬品の研究開発事業を展開しております。

当社グループは安定した収益が期待できる上市品を現時点では有していないため、収益面では、当面は開発の進展に応じて導出・販売提携先より当社グループに支払われるマイルストーン等、並びに緊急避妊薬（NorLevo）のサンド社（オーストラリア）への販売収入等に依存する格好となる見込みです。

マイルストーン等が期待できる契約としましては、NVA237/QVA149（適応：慢性閉塞性肺疾患）のノバルティス社への導出契約ほか、当期にはSOH-075（適応：緊急避妊）の販売提携に関してあすか製薬株式会社（以下 あすか製薬㈱）と基本合意に至りました。

ノバルティス社との導出契約におきましては、当社グループは総額187.5百万ドル（約170億円）のマイルストーンを、上市までに約85億円、上市後の販売マイルストーンとして約85億円を受領し、加えてノバルティス社の売上高の一部をロイヤリティとして受領できる契約となっております。

あすか製薬㈱との販売提携に関する基本合意におきましては、当社グループはSOH-075の上市までに契約一時金・マイルストーンとして総額3億円を受領できる条件となっております。

なお、AD923（適応：癌性突出痛）のムンディファーマ社（本社英国）への導出契約（北米・日本を除く地域の権利をマイルストーン総額17.5百万ポンド（約23億円）とロイヤリティで導出する内容）につきましては、当社グループが極力開発費負担をしない形でアウトライセンスする方針に変更したことに伴い、平成20年3月に一時中断した欧州の第 Ⅲ相臨床試験の再開の目処が立たないことから、受領済の3.5百万ポンドを支払うことを条件に、同社に導出した権利全てを買い戻すことで、平成20年12月に同社と合意に至りました。なお、当該費用の支払い方法につきましては、当期に一時金として2百万ポンド（支払時レートで約2.7億円）を支払い、残りの1.5百万ポンド（約2億円）は、将来他社に当該権利を導出した場合に、当社グループが受領する金額の20%を上限として支払う予定です。

当第3四半期連結会計期間の営業収益といたしましては、導出先からのマイルストーン収入、並びにその他の開発品の新規導出（販売提携を含む）に伴う契約一時金収入、及びNorLevo（緊急避妊薬）のサンド社（オーストラリア）への販売収入等はございません。

平成20年5月に公表いたしました、Sosei R&D Ltd.を対象とする大幅な人員削減、現サイトの閉鎖移転等につきましては、当第3四半期連結会計期間中にほぼ完了いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高132百万円（前年同期比80.1%減）、営業損失3,106百万円（前年同期営業損失4,540百万円）、経常損失3,812百万円（前年同期経常損失4,497百万円）、四半期純損失は3,534百万円（前年同期四半期純損失4,292百万円）となりました。

販売費及び一般管理費の総額は3,118百万円（前年同期比39.3%減）であり、そのうち研究開発費は731百万円（前年同期比74.8%減）、のれん償却額等は1,191百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

所在地別セグメントの業績については、国内の外部顧客に対する売上高が132百万円であり、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%を超えております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,050百万円減少し13,353百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,801百万円減少し、2,668百万円となりました。固定資産は前連結会計年度末に比べ1,249百万円減少し10,684百万円となりました。これは主にSosei R&D Ltd.買収に伴い発生したのれんが、償却により1,191百万円減少したことによるものであります。なお、当第3四半期連結会計期間末ののれんの残高は10,587百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ986百万円減少し635百万円となりました。株主資本は前連結会計年度末に比べ3,534百万円減少し11,290百万円となりました。これは主に、四半期純損失計上によるものであります。

以上より、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.6ポイント上昇し94.0%となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,397百万円（前年同期 2,878百万円）となりました。主たる理由は、税金等調整前四半期純損失3,689百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1百万円（前年同期 44百万円）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローはありませんでした。（前年同期50百万円）

なお、前年同期の数値につきましてはご参考として記載しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、平成20年5月14日に公表した「経営戦略の見直し」に基づき、今後数年間に亘って年間40億円程度の研究開発費を投下し続けるという従来の計画を抜本的に改め、研究開発費、固定費を大幅に削減するために、英国子会社のSosei R&D Ltd.を中心とする大規模なリストラクチャリングに着手いたしました。その後、当該リストラクチャリングは計画通り進展し、平成20年10月末に完了いたしました。この結果、第3四半期連結累計期間の研究開発費、及びその他固定費は、前年同期と比較して39.3%減少しており、また、第4四半期連結会計期間も同様の傾向が続く見込みであります。

売上高につきましては、SOH-075（適応：緊急避妊）の販売提携に伴う契約一時金、サンド社（オーストラリア）向けのNorLevo売上高を見込んでおり、通年では190百万円（前期実績は709百万円）と当初計画より変更はありません。

しかしながら、当第3四半期連結会計期間に為替差損約7億円を営業外費用に計上したこと、Sosei R&D Ltd.の維持運営費用が当初の計画よりも上回る見込みであること等から、営業利益を3,450百万円から3,900百万円に、経常利益を3,450百万円から4,600百万円に、当期純利益を3,450百万円から4,300百万円にそれぞれ下方修正いたします。

なお、業績予想の修正に関しましては、別途開示をしております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,380,501	4,907,939
売掛金	151	68,048
貸倒引当金	68,960	
その他	356,786	493,513
流動資産合計	2,668,478	5,469,501
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	47,917	76,828
工具、器具及び備品 (純額)	4,304	35,071
有形固定資産合計	52,222	111,900
無形固定資産		
のれん	10,587,324	11,778,398
その他	7,260	6,332
無形固定資産合計	10,594,584	11,784,731
投資その他の資産		
その他	38,100	37,691
投資その他の資産合計	38,100	37,691
固定資産合計	10,684,907	11,934,323
資産合計	13,353,386	17,403,824
負債の部		
流動負債		
買掛金	164	57,802
未払金	362,630	405,862
未払費用	259,921	1,108,933
未払法人税等	1,620	4,606
その他	10,727	44,219
流動負債合計	635,063	1,621,424
負債合計	635,063	1,621,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,965,805	16,965,805
資本剰余金	18,907,795	18,907,795
利益剰余金	24,582,941	21,048,032
株主資本合計	11,290,658	14,825,567
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	1,264,379	736,622
評価・換算差額等合計	1,264,379	736,622
新株予約権	163,284	220,210
純資産合計	12,718,322	15,782,400
負債純資産合計	13,353,386	17,403,824

(2) 四半期連結損益計算書
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)
売上高	132,444
売上原価	120,586
売上総利益	11,858
販売費及び一般管理費	3,118,355
営業損失 ()	3,106,497
営業外収益	
受取利息	10,851
雑収入	1,735
営業外収益合計	12,587
営業外費用	
為替差損	718,918
雑損失	90
営業外費用合計	719,009
経常損失 ()	3,812,919
特別利益	
固定資産売却益	1,474
新株予約権失効益	124,738
特別利益合計	126,213
特別損失	
固定資産除売却損	2,562
特別損失合計	2,562
税金等調整前四半期純損失 ()	3,689,268
法人税、住民税及び事業税	154,359
四半期純損失 ()	3,534,908

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	3,689,268
減価償却費	22,160
のれん償却額	1,191,073
株式報酬費用	67,815
新株予約権失効益	124,738
賞与引当金の増減額(は減少)	13,150
為替差損益(は益)	641,620
売上債権の増減額(は増加)	67,580
前払費用の増減額(は増加)	11,857
未収入金の増減額(は増加)	25,029
立替金の増減額(は増加)	33,867
未収付加価値税増減額(は増加)	25,047
未払金の増減額(は減少)	9,658
未払費用の増減額(は減少)	728,017
預り金の増減額(は減少)	15,855
その他	20,346
小計	2,454,972
利息及び配当金の受取額	10,851
法人税等の還付額	47,162
法人税等の支払額	852
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,397,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	1,174
有形固定資産の売却による収入	3,204
その他	469
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	
財務活動によるキャッシュ・フロー	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	131,186
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,527,437
現金及び現金同等物の期首残高	4,907,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,380,501

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

当社グループは、第11期（平成13年3月期）に医薬品開発事業に軸足を転換して以来、企業価値を高めるべく医薬品の研究開発並びに平成17年9月における海外の医薬品開発ベンチャー企業（Sosei R&D Ltd.）の買収等に多額の先行投資を行ってまいりました。医薬品の研究開発事業には多額の費用を要し、また投資資金の回収も他の産業と比較して相対的に長期に及ぶため、ベンチャー企業が当該事業に取り組む場合は、一般的にキャッシュ・フローのマイナスが先行する傾向にあります。当社グループにおきましても、同様に営業キャッシュ・フローのマイナスが継続しております。

一方で、当社グループは現時点において安定的な収益源を有していないこと、平成19年12月に資金調達を目的として発行した新株予約権（行使による最大調達金額は約50億円）は、株価低迷により行使が進んでいないこと等から、当社グループの現金及び預金残高が2,380百万円（平成20年12月末現在）まで減少しております。

これらにより、継続企業の前提に重要な疑義が存在しております。

当社グループは当該状況を解消すべく、平成20年5月に従来の方針を抜本的に見直し、営業キャッシュ・フローの改善に向けた諸策の取り組みに着手いたしました。

研究開発費の削減に関わる主な諸策は以下の通りであります。

開発品の絞り込みを行い、開発後期段階の開発品に優先的に経営資源を投下し、並びに、医薬候補品の探索（創薬）への投資を制限することにより、研究開発費を大幅に削減する。

開発後期段階であっても、多額の研究開発費を必要とする開発品AD 923（適応：癌性突出痛）については、アウトライセンス（癌性突出痛以外の適応及び器具の別用途も含む）、若しくは売却（当社グループが極力開発費を負担しない契約形態を想定）を検討する。

リスクの高いプロダクト・ディスカバリー事業から撤退する。

NVA237/QVA149及びAD 923を除く開発品のうち、Sosei R&D Ltd.で研究開発中のものについては、当社グループの研究開発費拠出を極力抑制しうる形態でアウトライセンス若しくは売却を検討する（但し、いずれの場合にもアジアの権利は留保する方針）。

インライセンスに関しては、当社グループの財政状況を見ながら、有望な後期開発候補品確保の検討も継続的に行い、ポートフォリオの新陳代謝を図ることにより、事業の継続性と企業価値向上の両立を図る。

開発品目につきましては、開発後期段階の開発品に絞り込むとともに、多額の開発費用を要するAD 923並びにSosei R&D Ltd.で研究開発中のその他の開発品は、平成20年10月末までに所定の開発を終了し、現在アウトライセンス活動乃至は当社グループが費用負担することなく開発を継続しうる手法（プロジェクト・ファイナンス等）を検討しております。また、Sosei R&D Ltd.のプロダクト・ディスカバリー事業の撤退も、同じく平成20年10月末で完了いたしました。この結果、当社グループが自社で開発中の開発品は、平成20年12月末時点においてSOH-075（適応：緊急避妊）のみとなっております。当社グループの研究開発費は当初計画通り前年度実績に比べて大幅に減少しております。

なお、新規開発品の導入につきましては、当社グループの財政状況が改善するまで当面の間は行わない方針です。

一方、その他の固定費の削減につきましては、懸案であったSosei R&D Ltd.の大幅な人員削減、現サイトの閉鎖移転は予定通り平成20年10月に完了しております。

この結果、当社グループの営業キャッシュ・フローは、マイナスの状況が続いているものの、当第3四半期連結会計期間は399百万円と、第2四半期連結会計期間の832百万円、及び前年同期の552百万円に比べて大きく改善しております。

引き続き、徹底した経費削減による支出抑制に加えて、マイルストーン等の収入を確保することにより、平成20年12月末から2年以上の必要資金を賄えるようグループを挙げて取り組んでまいります。

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

医薬事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	132,444	-	-	132,444	-	132,444
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	2,593	3,149	5,742	5,742	-
計	132,444	2,593	3,149	138,187	5,742	132,444
営業利益（又は営業損失（ ））	793,379	2,313,242	155	3,106,466	30	3,106,497

（注）1．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2．本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 欧州……英国

(2) 北米……米国

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	オセアニア	計
海外売上高（千円）	130,312	130,312
連結売上高（千円）	-	132,444
連結売上高に占める海外売 上高の割合（％）	98.4	98.4

（注）1．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2．各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

オセアニア……オーストラリア

3．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
売上高	664,822
売上原価	65,849
売上総利益	598,972
販売費及び一般管理費	5,139,229
営業損失()	4,540,256
営業外収益	81,118
営業外費用	38,249
経常損失()	4,497,387
特別利益	690
特別損失	19,072
税金等調整前第3四半期純損失()	4,515,769
法人税、住民税及び事業税	223,098
第3四半期(当期)純損失()	4,292,670

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第 3 四半期連結累計期間 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 12 月 31 日)

	前年同四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)
区分	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前第 3 四半期 (当期) 純損失 ()	4,515,769
減価償却費	29,681
のれん償却額	1,205,494
株式報酬費用	107,480
株式交付費	4,199
関係会社出資金売却損	1,573
投資有価証券評価損	17,499
売上債権の増減額	85,976
未収入金の増減額	53,877
仕入債務の増減額	55,687
未払金の増減額	110,543
未払費用の増減額	44,546
未払法人税等の増減額	1,568
その他	125,215
小計	3,255,320
利息の受取額	79,876
法人税等の還付額	300,122
法人税等の支払額	3,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,878,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	61,609
出資金の売却による収入	12,606
その他	4,507
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	42,550
その他	7,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,017

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,817
現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	2,869,234
現金及び現金同等物の期首残高	8,955,202
現金及び現金同等物の第3四半期末 (期末)残高	6,085,968

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

医薬事業の売上高及び営業損失の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業損失の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	50,510	614,311	-	664,822	-	664,822
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	43,408	19,710	63,118	63,118	-
計	50,510	657,719	19,710	727,940	63,118	664,822
営業費用	1,075,026	4,175,332	18,044	5,268,403	63,324	5,205,078
営業利益（又は営業損失 ()）	1,024,515	3,517,612	1,665	4,540,462	206	4,540,256

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 欧州.....英国

(2) 北米.....米国

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～12月31日）

	欧州	オセアニア	計
海外売上高（千円）	614,311	48,240	662,551
連結売上高（千円）	-	-	664,822
連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	92.4	7.3	99.7

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 欧州.....英国、スイス

(2) オセアニア.....オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

6 . その他の情報